

学年別モデルカリキュラム (小学校)

【小1.2】

ア. 知識、思考、判断

- ・友達や身近な人への関心を高め、仲良く行動できるようにする。(共助)
- ・学校や校区にある安全な施設について知る。(自助)

イ. 危険予測・主体的な行動

- ・指示に従い、安全に行動できるようにする。(自助)
- ・素早く安全に行動する。(自助)

ウ. 社会貢献、支援者の基礎

- ・集団の一員であることを自覚し、自分の仕事に責任をもって取り組む。(共助)

	単 元・主 題 等	内 容
国語	・どうやってみをまもるのかな ・いろいろなふね ・町で見つけたことを話そう	・自分はどのように身を守るのか考える。(1 年上 P68～P75) ・消防艇や暮らしを守る車を知る。(1 年下 P43～P51) ・消防署についての話をする。(2 年下 P32～P38)
算数	・いろいろなかたち (啓) ・かたちあそび (日) (東) ・三角形と四角形 (啓) ・形をしらべよう (日) ・さんかくやしかくの形をしらべよう (東)	・身のまわりにある物の形(安全に関わる標識等)について知る。 (啓：1 年①P40～P47) (日：1 年②P72～P76) (東：1 年②P72～P75) ・みのまわりから四角形や三角形のかたちをしたものを見つけよう。…身のまわりにある物の形 (安全に関わる標識) をさがす。 (啓：2 年下 P40～P55) (日：2 年上 P113～P128) (東：2 年上 P100～P112)
生活	・がっこうだいすき (東) ・わくわくどきどきしょうがっこう (教) ・あんぜんとけんこう (教) ・どきどきわくわくまちたんけん (東) ・まちが大すきたんけんたい (教) ・かつどうべんりてちょう (東) ・学びのポケット (教)	・みんなでつうがくろをあるこう (上 P22～P25) 通学路にある安全を守るための物についてを知る。 ・げんきにすごそう (上 P22～P23) ・あんぜんとけんこう (上 P126～P127) ・まちたんけん (下 P20～P29) 地域の安全を守っている人や施設を知る。 ・まちが大すきたんけんたい (下 P22～P33) ・わたしのまちのくふう (下 P36) ・あんぜんにくらそう けんこうにくらそう (下 P104～P105) ・おぼえてあんぜん (下 P126～P127)
道徳	・休みじかん ・花火にこめられたねがい	・安全に気をつけて行動することについて考える。(1 年 P124～P127) ・花火にこめられた思いや願いを考える。(2 年 P58～P61)
特別活動	・区と連携した取組 ・避難訓練 ・集団下校訓練 ・大阪 880 万人訓練 ・防災教材～地震・津波から身を守る～ ・火事になったら ・地震が起きたらどうするの	(一次避難)・実践事例 5・実践事例 13 (二次避難)・実践事例 6・実践事例 11・実践事例 12・幼小連携 ・小中連携・異学年交流学习 ・大阪管区気象台 HP

【 小3. 4 】

ア. 知識、思考、判断

- ・自然災害について知り、自ら安全な行動をとるための判断に生かす。(自助、共助)
- ・命の大切さについて考え、状況に応じて自らの身を守ることができる。(自助)

イ. 危険予測・主体的な行動

- ・自然災害によって起こりうる危険を認識し、自ら安全な行動をとることができる。(自助)

ウ. 社会貢献、支援者の基礎

- ・災害発生時や発生後に、地域の一員として他の人の安全に役立つ。(共助)

	単 元・主 題 等	内 容
国語	・図書館へ行く ・いろいろなつたえ方	・災害救助犬や防災について知る。(3 年上 P30～P33) ・非常口の標示について話し合う。(3 年下 P60～P63)
社会	・くらしを守る (東) ・自然災害からくらしを守る (東) ・安全なくらしを守る (日) ・自然災害から人々を守る活動 (日)	・安全なくらしを守るはたらき (3 年 P88～P115) ・災害からくらしを守るために (4 年 P72～P93) ・安全なくらしを守る人々の仕事 (3 年 P94～P127) ・自然災害から命を守る。(4 年 P80～P119)
算数	・長さ (啓) ・長い長さを表そう (日) ・長い長さをはかって表そう (東) ・小数 (啓) ・1 より小さい数を表そう (日) ・小数のしくみを考えよう (日) ・数の表し方やしくみを調べよう (東) ・小数のしくみを調べよう (東)	・災害時の標識をもとに、歩いた歩数やかかった時間を調べる。 ・長さを実測して津波の大きさを体感する。 (啓：3 年上 P96～P101) (日：3 年上 P115～P124) (東：3 年上 P56～P65) ・海拔を示した標識を見て、小数について知る。 (啓：3 年下 P68～P81、4 年上 P84～P95) (日：3 年下 P21～P34、4 年上 P89～P105) (東：3 年下 P14～P29、4 年上 P72～P89)
理科	・風とゴムの力のはたらき ・地面を流れる水のゆくえ	・風には物を動かす力があり、風の強さによって動かす力も変わることを知り、台風による影響を考える。(3 年 P46～P59) ・「水がしみこんだ土地でのさい害」について知る。(4 年 P28～P35)
保健	・安全な生活のために① (学) ・外で遊ぶときに注意すること (東)	・自然災害や緊急事態にそなえて (P47) ・自然災害が起こったとき (P45)
道徳	・助かった命 ・さいがいにそなえて (心のベンチ) ・お父さんのじまん ・ネコの手ボランティア	・かけがえのない命をどのように守っていくか考える。(3 年 P132～P135) ・自然災害について知り、日ごろの備えについて考える。(3 年 P136～P137) ・稲むらの火について知る。(4 年 P100～P105) ・阪神大震災について知り、地域の一員としてできることを考える。(4 年 P138～P141)
特別活動	・区と連携した取組 ・避難訓練 ・集団下校訓練 ・大阪 880 万人訓練・社会見学 ・防災教材～地震・津波から身を守る～ ・休み時間に大地震がおきたら ・どうする？大雨だ、強風だ、かみなりだ	(一時避難)・実践事例 7・実践事例 9・実践事例 13 (二次避難)・実践事例 6・実践事例 11・実践事例 12・幼小連携 ・小中連携・異学年交流学习 ・消防署、阿倍野防災センター、津波・高潮ステーション など ・大阪管区気象台 HP

【 小5 】

ア. 知識、思考、判断

- ・地域で起こりやすい災害や過去の災害について理解し、安全な行動をとるための判断力を養う。(自助、共助)
- ・被害を軽減したり、災害後に役立つものについて理解したりする。(共助)

イ. 危険予測・主体的な行動

- ・自然災害によって起こりうる危険を認識し、自らの安全を確保することができる。(自助)

ウ. 社会貢献、支援者の基礎

- ・自他の生命を尊重し、災害発生時や発生後に、他の人や集団、地域の安全に役立つことができる。(共助)

	単 元・主 題 等	内 容
国語	・日本語と外国語	・津波避難ビルの標識について話し合う (P200～P203)
社会	・日本の国土と人々の暮らし (日) ・国土の環境を守る (日) ・わたしたちの国土 (東) ・わたしたちの生活と環境 (東)	・つゆと台風 (P24～P25) ・水害とむきあう人々 (P42～P43) ・自然災害から人々を守る (P240～P253) ・水害とたたかってきた人々 (上 P26～P27) ・つゆと台風 (上 P44～P45) ・自然災害を防ぐ (下 P88～P99)
算数	・割合のグラフ (啓) ・割合をグラフに表そう (日) ・割合をグラフに表して調べよう (東)	・災害前に準備しておきたいものについて調査し、グラフに表す。 (啓：5年 P206～P215) (日：5年 P227～P240) (東：5年下 P82～P92)
理科	・台風と気象情報 ・流れる水のはたらき (参考：洪水の危険について知ろう)	・気象災害から暮らしを守る。(P64～P69) ・川の水による災害を防ぐ取り組みを知る。(P102～P121)
家庭	・安全と衛生に気をつけて実習しよう (開)	・もし、実習中に地震が起きたら (P142～P143)
保健	・けがの防止 (学) ・けがの防止 (東) (参考：けがを防いで簡単な手当てができるように)	・自然災害や緊急事態に備えて (P44～P45) ・自然災害によるけがの防止 (P36～P38)
道徳	・「ありがとう」がつながる ・ミスター・トルネード 藤田 哲也	・「つながり」には、どんな力があるか考える。(P132～P135) ・竜巻の研究をし、原因の究明や被害を軽減に尽力した人物の想いについて考える。(P124～P127)
特別活動	・区と連携した取組 ・避難訓練 ・集団下校訓練 ・大阪 880 万人訓練・社会見学 ・防災教材～地震・津波から身を守る～ ・いざという時の備えは	(一次避難)・実践事例 8・実践事例 9・実践事例 10・実践事例 13 (二次避難)・実践事例 6・実践事例 11・実践事例 12・幼小連携 ・小中連携・異学年交流学習 ・消防署、阿倍野防災センター、津波・高潮ステーションなど ・大阪管区気象台 HP

【 小6 】

ア. 知識、思考、判断

- ・地域で起こりやすい災害や過去の災害について理解し、安全な行動をとるための判断力を養う。(自助、共助)
- ・被害を軽減したり、災害後に役立つものについて理解したりする。(共助)

イ. 危険予測・主体的な行動

- ・自然災害によって起こりうる危険を認識し、自らの安全を確保することができる。(自助)

ウ. 社会貢献、支援者の基礎

- ・自他の生命を尊重し、災害発生時や発生後に、他の人や集団、地域の安全に役立つことができる。(共助)

	単 元・主 題 等	内 容
国語	・いざという時のために	・自分や家族を守るために必要な防災への取組について考える。(P62～P67)
社会	・自然災害からの復旧や復興のための取り組み(日) ・アジア・太平洋に広がる戦争(日) ・新しい日本のあゆみ(日) ・震災復興の願いを実現する政治(東) ・世界に歩みだした日本(東) ・新しい日本、平和な日本へ(東)	・政治が被災した人々の思いや願いを受けてどのような働きをしたのか考える。(P46～P51) ・関東大震災(P197) ・これからの日本とわたしたち(P226) ・災害にあった人々の願いがどのような人々の働きによって実現されるのか考える。(政・国 P46～P54) ・首都圏をおそった関東大震災(歴 P125) ・変化の中の日本(歴 P150～P151)
算数	・わくわく SDGs(啓) ・マテマランドを探検しよう(日) ・算数卒業旅行(東)	・水害に備えよう(啓：6年 P204～P207)(日：6年 P208～P227)(東：6年 P220～P230)
理科	・大地のつくりと変化(参考：わたしたちのくらしと火山) ・自然とともに生きる	・火山や地震と大地の変化(P138～P153) ・自然とともに生きるために(P192～P203)
家庭	・家庭や地域の安全・防災(開)	・災害前の準備と災害後の対応について、家庭や地域でできることを知る(P144～P145)
道徳	・ぼくたちの学校 ・上村さんのちょうせんーひさい犬と共にー ・エルトゥールル号ー日本とトルコのつながりー	・学校のために取り組んできたことやこれから取り組んでいきたいことを考える。(P42～P45) ・災害救助犬の活躍について知る。(P78～P81) ・災害発生時の他国とのつながりについて知る。(P98～P101)
特別活動	・区と連携した取組 ・避難訓練 ・集団下校訓練 ・大阪 880 万人訓練・社会見学 ・防災教材～地震・津波から身を守る～ ・町の中でぐらっときたら	(一次避難)・実践事例 8・実践事例 9・実践事例 10・実践事例 13 (二次避難)・実践事例 6・実践事例 11・実践事例 12・幼小連携 ・小中連携・異学年交流学習 ・消防署、阿倍野防災センター、津波・高潮ステーションなど ・大阪管区気象台 HP

学年別モデルカリキュラム (中学校)

【中1】

ア. 知識・思考・判断

- ・自然災害の歴史や仕組みについて理解し、地域の防災について考える。また、自らの身を守る判断力を養うとともに、社会貢献の大切さについて理解する。(自助、共助)

イ. 危険予測・主体的な行動

- ・自然災害で起こりうる危険を予測するとともに、災害発生時には身近な人々の安全にも気配りができるようにする。(自助、共助)

ウ. 社会貢献・支援者の基礎

- ・自然災害に備え、地域の一員として課題を解決しようとする自主的・実践的態度を身に付ける。
(自助、共助)

	単 元・主 題 等	内 容
国語	・情報を関係づける ・レポートや新聞づくりで、防災を題材として取り上げる。	
社会	【地理的分野】 ・世界の諸地域 【歴史的分野】 ・武家政権の成長と東アジア（帝）	・自然災害の仕組みについて理解する。 ・自然を生かした信玄堤を通じて、自然災害の歴史について理解する。
数学	・1次方程式の利用 ・比例と反比例	・速さ、時間、道のりの問題を津波避難を例にして作成する。 ・地震が伝わる時間と震源からの距離をグラフで表す。
理科	・活きている地球（啓） ・大地の変化（東）	・自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生の仕組みと関連付けて理解する。
美術	・形や色で伝えるシンボルマーク（日） ・印象に残るロゴマーク（光）	・地震等災害が起こった時に、様々な情報を、多くの人にわかりやすく正確に伝えるために工夫されたデザインを考える。
保体	・着衣のまま水に落ちた場合の対処	・不慮の事故に出会ったときの落ち着いた対応の仕方について学ぶ。
技家	【技術】 ・生活や社会を支える材料と加工の技術 ・エネルギー変換の技術による問題解決 【家庭】 ・災害への対策（東） ・災害に備えた空間（開） ・地域での協働を目指して（東） ・かかわり合う地域と家庭（開）	【技術】 ・丈夫な製品を作る工夫について理解する。(P52～P53) ・災害発生時に起こりうる問題を防止、解決するための対策について考える。(P168～P169) 【家庭】 ・災害への対策（P182～P185） ・災害に備えた空間（P246～P255） ・地域での協働を目指して（P264～P267） ・かかわり合う地域と家庭（P76～P81）
英語	・防災に関する図書や資料をテキストとして活用し、作文活動や感想を発表する。 ・レポートや新聞づくりで、防災を題材として取り上げる。	
道徳	・内容項目 A(2)節度、節制、C(10)遵法精神、公德心、C(12)社会参画、公共の精神、C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、D(19)生命の尊さ ・過去が光って見えるとき B(6)思いやり、感謝	
総合	・防災マップ・ポスター・地域パンフレット作り ・文化祭での舞台発表や教室展示などで防災をテーマとする ・体験者からの聞き取りや地域調査	
特活	・避難訓練・区と連携した取組・防災講演会・応急手当講習・集団下校訓練・小中連携した取組 ・地震を想定した避難訓練（緊急地震速報） ・大阪 880 万人訓練参加・社会見学・一泊移住	

【中2】

ア. 知識、思考・判断

- ・地震・津波に関するメカニズムなどの災害や地域の特性について理解を深める。また、災害への日常の備えや的確な避難行動、社会貢献の大切さについて理解を深める。(自助、共助)

イ. 危険予測・主体的な行動

- ・自他の安全に対し、責任ある行動をとるとともに、災害発生時には他者と協力して、災害弱者を助けたり、適切な応急処置を行ったりすることができる。(自助、共助)

ウ. 社会貢献、支援者の基礎

- ・自他の生命を尊び、他者の生き方を尊重する態度を身につける。安全な社会づくりのために貢献しようとする態度を身に付ける。(自助、共助)

	単 元・主 題 等	内 容
国語	・読書についての発展学習で、防災に関する図書を読み、作文活動や感想を発表する。 ・レポートや新聞づくりで、防災を題材として取り上げる。	
社会	【地理的分野】 ・日本の地域的特色 ・地域のあり方	・日本の自然災害の特性や防災への取組について理解する。 ・地域のあり方や課題について考えることを通じて、安全な社会づくりに貢献しようとする態度を身に付ける。
数学	・連立方程式 ・1次関数 ・データの比較	・速さ、時間、道のりの問題を津波避難を例にして作成する。 ・地震の発生と伝わり方の関数を表す。 ・地震や津波に関する地域ごとの傾向等を箱ひげ図で比較する。
理科	・地球の大気と天気の変化(啓) ・天気とその変化(東)	・気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらの天気の変化や日本の気象と関連付けて理解する。
美術	・ひと目で伝わるみんなのデザイン(日) ・わかりやすく情報を伝える(光) ・防災のデザイン(光)	・ピクトグラムを使って、場所や施設の他、安全、禁止、注意、指示等の情報を伝えるデザインを考える。 ・防災のためにデザインされた作品を見て、工夫について考える。
保体	・着衣のまま水に落ちた場合の対処 ・傷害の防止	・不慮の事故に出会ったときの落ち着いた対応の仕方について学ぶ。 ・自然災害による危険(P76～P77) ・自然災害による傷害の防止(P78～P79) ・共に生きる(P80～P81) ・応急手当の意義と方法(P82～P83) ・心肺蘇生法(P84～P85)
技家	【技術】 ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 【家庭】 ・災害への対策(東) ・災害に備えた空間(開) ・地域での協働を目指して(東) ・かかわり合う地域と家庭(開)	【技術】 ・災害発生時に起こりうる問題を防止、解決するための対策について考える。(P236～P237) 【家庭】 ・災害への対策(P182～P185) ・災害に備えた空間(P246～P255) ・地域での協働を目指して(P264～P267) ・かかわり合う地域と家庭(P76～P81)
英語	・防災に関する図書や資料をテキストとして活用し、作文活動や感想を発表する。 ・レポートや新聞づくりで、防災を題材として取り上げる。	
道徳	・内容項目 A(2)節度、節制、C(10)遵法精神、公德心、C(11)公正、公平、社会正義、C(12)、社会参画、公共の精神、C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	
総合	・防災マップ・ポスター・地域パンフレット作り ・文化祭での舞台発表や教室展示などで防災をテーマとする ・体験者からの聞き取りや地域調査	
特活	・避難訓練・区と連携した取組・防災講演会・応急手当講習・集団下校訓練・小中連携した取組 ・地震を想定した避難訓練(緊急地震速報) ・大阪880万人訓練参加・社会見学・一泊移住	

【中3】

ア. 知識、思考・判断

- ・地震・津波に関するメカニズムなどの災害や地域の特性について理解を深める。また、災害への日常の備えや的確な避難行動、社会貢献の大切さについて理解を深める。(自助、共助)

イ. 危険予測・主体的な行動

- ・自他の安全に対し、責任ある行動をとるとともに、災害発生時には他者と協力して、災害弱者を助けたり、適切な応急処置を行ったりすることができる。(自助、共助)

ウ. 社会貢献、支援者の基礎

- ・自他の生命を尊び、他者の生き方を尊重する態度を身につける。安全な社会づくりのために貢献しようとする態度を身につける。(自助、共助)

	単 元・主 題 等	内 容
国語	・防災フェスタを開こう（光：書写） ・読書についての発展学習で、防災に関する図書を読み、作文活動や感想を発表する。 ・レポートや新聞づくりで、防災を題材として取り上げる。	
社会	【歴史的分野】 ・歴史から防災を学ぼう（帝） ・災害の歴史に学ぶ（日） ・震災の記憶を語りつぐ（東） 【公民的分野】 ・現代社会と私たち（帝） ・東日本大震災からの復興と防災（東）	・大地震の事例を通じて、自然災害の特性や地域の防災の重要性について理解する。 ・災害や防災の歴史を踏まえて、自分たちがとるべき行動を構想し、課題意識を持つことができるようにする。 ・日本の歴史的な震災の事例を通じて、災害への日常の備えや的確な避難行動、社会貢献の大切さについて理解する。 ・防災備蓄倉庫の新設を考えることを通じて、危険を予測したり、安全な社会づくりのために貢献したりしようとする態度を育む。 ・東日本大震災での被害や復興に向けた取組を学ぶことを通じて、持続可能な社会づくりのために貢献しようとする態度を身に付ける。
数学	・平方根 ・相似な図形 ・三平方の定理	・地震や津波が到達する距離を計算する。 ・建物と津波を絡めて、比率を求める問題を作成する。 ・避難距離に関する問題を作成する。
理科	・自然と人間（啓） ・地球と私たちの未来のために（東）	・地域の自然災害について、総合的に調べ、自然と人間との関わり方について考える。
音楽	・歌い継ごう日本の歌 「花は咲く」	・東日本大震災の復興ソングを歌い継ぎ、震災の教訓を後世に伝えるとともに防災意識を高める。
美術	・映像を使って情報を伝える（日） ・印象に残る映像表現（光）	・災害発生時に起こりうる問題を防止、解決するための防災学習時に、様々な情報を、多くの人にわかりやすく正確に伝えるために工夫された映像を考える。
保体	・着衣のまま水に落ちた場合の対処 ・健康と環境	・不慮の事故に出会ったときの落ち着いた対応の仕方について学ぶ。 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理（P132～P135）
技家	【技術】 ・社会の発展と情報の技術 【家庭】 ・災害への対策（東） ・災害に備えた空間（開） ・地域での協働を目指して（東） ・かかわり合う地域と家庭（開）	【技術】 ・災害発生時に起こりうる問題を防止、解決するための対策について考える。（P258～P260） 【家庭】 ・災害への対策（P182～P185） ・災害に備えた空間（P246～P255） ・地域での協働を目指して（P264～P267） ・かかわり合う地域と家庭（P76～81）
英語	・防災に関する図書や資料をテキストとして活用し、作文活動や感想を発表する。 ・レポートや新聞づくりで、防災を題材として取り上げる。	
道徳	・内容項目 B(6)思いやり、感謝、B(7)礼儀、C(10)遵法精神、公徳心、C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度、C(19)生命の尊さ	
総合	・防災マップ・ポスター・地域パンフレット作り ・文化祭での舞台発表や教室展示などで防災をテーマとする ・体験者からの聞き取りや地域調査	
特活	・避難訓練・区と連携した取組・防災講演会・応急手当講習・集団下校訓練・小中連携した取組 ・地震を想定した避難訓練（緊急地震速報） ・大阪 880 万人訓練参加・社会見学・一泊移住 ・災害後の暮らし	